
夢に縛られし 愚か者たちの宴 第一部 アンデットナイト

かに三昧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢に縛られし 愚か者たちの宴 第一部 アンデットナイト

【Nコード】

N2199C

【作者名】

かに三昧

【あらすじ】

前世、それも異世界の記憶を持つ転生者達が、それぞれの前世の記憶に踊らされます。主人公の男子高校生は前世での約束を守る為に日常を捨て命を懸けて戦うために…

序章（前書き）

各種設定はテーブルトークRPG、ソードワールドを参考にしています。故にファンフィクションに分類されるかも知れませんが、ストーリー、登場人物はまったくのオリジナルです。

序章

序章

嫌なにおいのする、狭い部屋の中、周期的に右に左に揺れる。

部屋中には大勢の人間が詰め込まれている。皆が一様に武装している。武装は皆がまちまち、良く観察すれば数人の仲間と思しき集団がいくつもあることがわかる。そして彼らの使う言葉もいくもの種類があることがわかる。

大声で勇ましい事を語る集団。

小声で怨嗟の声を吐く集団。

一人でぶつぶつなにやら祈りをささげている奴。

かく言う俺は、呑気に鼻歌を歌っていた。

歌の歌詞は、今となっては下位古代語と言われる大昔の言葉。俺自身は歌詞の意味を知っているが面倒なので説明は省くが、子守歌の類だ。

正直きな臭い空気の中、俺は満杯になった大きな背負い袋に腰掛。得物の槍を無造作に体に立てかけ、気持ちよく揺れる船室でゴキゲンさんだった。

不意に目の前に、熊のような大男が立ちふさがる。奴はどすの利いた声で俺に怒鳴る。

「おい、てめえ、ここはガキのピクニックじゃねえんだよ」

なあにを、びびっていやがる。俺は口の端をやや吊り上げ薄く笑い。

「違ったのか？」

と、ひげ面、はげ頭の熊男に言っただった。

「野郎！」

熊男が殴りかかるうとする。

のろまな動きだ… つまらん。寸前でかわせば充分だ。俺は放っ

て置くことにした。

熊男の仲間と思しき奴らが慌てて熊男を取り押さえる。

その中の一人が俺に声をかける。

「すまなかつたな、しかしアンタも良くない。今から戦に行くんだ。二十歳やそこの若造じゃあるまいし。少しは気を付ける事だ。」

俺は手をヒラヒラと振ってその親切に答えた。

そう、ここは戦地に向かう船の中、そして俺たちは金で雇われた気楽で楽しい戦争屋。

「なあそうだる婆さん」

俺は自分の左手に向かってそう独り言を呟いた。

俺が昨夜見た夢は概ねこんな所だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2199c/>

夢に縛られし 愚か者たちの宴 第一部 アンデットナイト

2010年10月11日03時21分発行